

2014年4月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】前年同月売上は既存店ベースで▲17.1%、全店ベースで▲15.7%
売上増減要素: ①3月の消費増税前の駆け込み需要の反動が、タイヤ・ホイールをはじめ主要商品群の売上に影響し、②加えて新車販売台数の減少により、ナビゲーションなどの商品の売上が低下。③車販売や車検・整備も消費増税の影響により売上減少。
【商品別】 タイヤ・ホイール: タイヤは一部の降雪エリアで冬タイヤから夏タイヤへの履き替えも進んだが、消費増税前の駆け込み需要の反動の影響が著しく、数量・金額ともに前年割れ。ホイールは大口径サイズなど高額商品の落ち込みが顕著。
カーエレクトロニクス: 消費増税による新車販売台数減の影響もあり、ナビゲーションの売上が減少し、単価も据え置き型、ポータブルとも低下。ドライブレコーダーは好調を維持し、金額で前年比二桁以上伸長。
オイル: 数量・金額ともに前年割れとなるが、売場での取り組みを強化したオイル添加剤は好調。 バッテリー: 3月に大きく伸長した反動もあり、数量・金額とも前年実績を下回った。 メンテナンス: 全国的に降水量が平年を下回った影響などもあり、ワイパーの売上が減少。
アクセサリ: 他の商品群と比べ増税の影響が少なかったが、レーダー探知機は大きく前年割れ。 カーリペア: 消費増税の影響は少なかったが、好調が続いていた手軽なタイプのコート剤などが前年実績を下回り、PB清掃用品は数量ベースで前年実績を上回った。
サービス: タイヤ・ホイール、ナビゲーションなどの販売数量減に伴い、取付工賃は減少。車検・整備は、消費増税により4月車検満了予定の車両が、3月に多数前倒しで入庫したことが大きく影響し、台数・金額ともに前年割れ。全店ベースで台数前年比▲24.7%、金額前年比▲18.9%。
車販売: 店舗での査定件数は増加したものの、消費増税の影響が大きく、買取りによる業販、小売ともに前年実績を下回る。全店ベースで台数前年比▲18.7%、金額前年比▲20.0%

2014年5月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】前年同月売上は既存店ベースで▲9.8%、全店ベースで▲8.4%
売上増減要素: ①前月より影響が小さくなっているが、消費増税前の駆け込み需要の反動により、タイヤ・ホイール、カーナビなどの売上が減少し、②車検・整備はほぼ前年並み、③車販売は消費増税の影響もあり売上減少。
【商品別】 タイヤ・ホイール: タイヤは消費増税前の駆け込み需要の反動と、履き替え需要の前倒しの影響もあり、数量・金額ともに前年割れ。ホイールは、軽自動車用サイズは売上の落ち込みが少ないが、大口径サイズなど高額商品が不振。
カーエレクトロニクス: ナビゲーションは、単価下落およびPNDの販売台数の不振などにより売上が減少。しかし、各メーカーより新商品の投入もあり、据え置き型ナビゲーションは台数ベースで若干復調の兆し。一方、ドライブレコーダーは好調を維持し、数量・金額とも前年比二桁以上の伸長。
オイル: 数量・金額ともに前年割れとなるが、売場での訴求を強化したオイル添加剤は前月に引き続き好調。 メンテナンス: 一般的に降水量が少ないことが影響しワイパーが不調。 アクセサリ: 全体では前年割れとなるが、5月後半の好天と気温の上昇とともに日除け商品の需要が回復。
サービス: ナビゲーション、タイヤ・ホイールなどの販売数量減に伴い、取付工賃が減少したが、ボディアンダーコーティングなどのサービスメニューは好調。車検・整備は台数、金額ともに前年並み。全店ベースで台数前年比+0.2%、金額前年比▲0.3%。
車販売: 全体の売上は減少したが、店舗での買取り査定件数が大幅に増加したことにより業販は前年並み。小売は消費増税の影響で中古車販売が不調、新車は納車遅れの車両などもあり前年比プラス。全店ベースで台数前年比▲7.5%、金額前年比▲5.6%

2014年6月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】前年同月売上は既存店ベースで▲10.2%、全店ベースで▲8.7%
売上増減要素: ①土日祝日数、前年比で1日減、②前月に引き続き消費増税前の駆け込み需要の反動により、タイヤ・ホイール、ナビゲーションなどの売上が減少し、③駆け込み需要と関係性の低いドライブレコーダー等一部の商品は堅調。④車販売は反動減が一段落し、小売・業販ともに前年比プラス。
【商品別】 タイヤ・ホイール: タイヤは消費増税前の駆け込み需要の反動により、数量・金額ともに前年割れ。ホイールは、軽自動車用ホイールは売上の落ち込みが少なく、大口径サイズなど高単価商品が不振。
カーエレクトロニクス: ナビゲーションは数量・金額ともに前年割れとなる。しかしながら6月後半より販売施策を強化したことで、据え置き型ナビゲーションは売上復調の兆し。また、ドライブレコーダーは数量・金額とも前年比二桁以上の伸長を維持。
オイル: 売場での訴求を強化したオイル添加剤は、前月に引き続き好調に推移。 メンテナンス: 全体では低調も、エアコンフィルターが好調。 アクセサリ: 前年割れであるが、季節商品である日除け類が好調に推移。
カーリペア: カーリペア全体では前年割れであったが、手軽なタイプのコート剤、PB清掃用品、ガラス撥水剤などが好調に推移。
サービス: ナビゲーション、タイヤ・ホイールなどの取付工賃が減少したが、ボディアンダーコーティングやガラス撥水、燃料ライン洗浄などのピットサービスメニューが好調。車検・整備は台数、金額ともに前年割れ。全店ベースで台数前年比▲3.8%、金額前年比▲3.8%。
車販売: 店舗での買取り査定件数および成約台数が大幅に増加したことにより業販が好調に推移。また小売においても、新車販売、中古車販売ともに前年実績を上回った。全店ベースで台数前年比+6.0%、金額前年比+11.5%

2014年7月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】前年同月売上は既存店ベースで▲2.7%、全店ベースで▲1.5%
売上増減要素: ①消費増税前の駆け込み需要の反動が弱まったことにより売上高の前年比マイナスが縮小し、②加えて広告宣伝や販売促進を強化したことによりタイヤやナビゲーションの売上が回復。③車販売は小売・業販ともに好調で売上伸長。
【商品別】 タイヤ・ホイール: タイヤは広告宣伝や販売促進の強化により、数量ベースで前年実績を上回る。ただし単価ダウンの傾向が続いており、金額では若干の前年割れ。ホイールは低価格帯商品の販売は好調だが、ドレスアップ系商品など高単価商品が不振。
カーエレクトロニクス: 販売促進施策の強化により、据え置き型ナビゲーションが数量・金額とも前年実績をクリアし、単価も前年実績を上回る。ナビの販売好調に伴い後部座席用車載モニターも好調。好調のドライブレコーダーは数量・金額とも前年比二桁以上の伸長が継続。
オイル: 数量・金額ともに前年割れ。エンジン内部洗浄剤は好調だったが販売強化中のオイル添加剤については売上が鈍化。 メンテナンス: 天候の影響もありワイパーが好調に推移。 アクセサリ: レーダー探知機や車内用品などの売上減少が影響し前年割れ。
カーリペア: ガラスコート剤などが好調だったが、補修ケミカルを中心に売上が落ち込み、カーリペア全体では前年割れ。 カースポーツ: 販売促進を強化した足回り関連商品が好調。
サービス: タイヤなどの取付工賃が若干回復。また、取り組みを強化しているボディアンダーコーティングや燃料ライン洗浄などのサービス工賃が好調を維持。一方で車検・整備は台数、金額ともに前年割れ。全店ベースで台数前年比▲1.5%、金額前年比▲2.8%。
車販売: 店舗での買取り査定件数と成約台数が大幅に増加し業販が伸長。小売では、特に新車販売台数が前年実績を大きく上回り、中古車販売も前年実績を上回った。全店ベースで台数前年比+22.9%、金額前年比+29.9%

2014年8月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】前年同月売上は既存店ベースで▲6.5%、全店ベースで▲5.2%
売上増減要素: ①西日本を中心とした台風や集中豪雨などの天候要因が集客に影響。②広告宣伝や販売促進を強化したことによりタイヤの売上が数量ベースで前年実績を上回る。③全国的な新車販売台数の落ち込みを背景にナビゲーションやアクセサリーの売上が減少。④車販売は小売・業販ともに好調で売上伸長。
【商品別】 タイヤ・ホイール: タイヤは単価ダウンの傾向が続いているが、広告宣伝や販売促進の強化により、数量ベースで前年実績を上回る。また、北日本エリアではスタッドレスタイヤの早期販売も好調。ホイールは軽自動車サイズを中心に低価格帯商品は好調だが、ドレスアップ系商品など高価格帯が不振。
カーエレクトロニクス: ナビゲーションは広告宣伝をタイヤに集中したことにより数量、金額ともに前年を下回り、販売単価も下落。一方、ドライブレコーダーや後部座席用車載モニターは好調で、いずれも数量、金額とも前年比二桁以上の大幅伸長が継続。
オイル: 数量、金額ともに前年割れだったが、販売強化中のオイル添加剤は売上好調。 メンテナンス: 天候の影響もありワイパーの売上が大幅伸長。メンテナンス全体の売上を牽引し前年実績を上回った。 アクセサリ: 車内用品は不振だったが、シートカバー、フロアマット、ボディカバーなどが好調。
カーリペア: 補修用品、清掃用品などは不振だったが、天候の影響もありガラスコート剤などが好調。
サービス: ナビゲーションなどの取付工賃は減少したが、コーティングなどの物販を伴わないサービス工賃は好調を維持。板金・塗装も好調。車検・整備は、台数は前年実績を上回ったが、金額は若干の前年割れ。ただし全店ベースでは台数前年比+1.3%、金額前年比+0.4%。
車販売: 店舗での買取り査定件数および成約台数が大幅に増加したことで業販が伸長。小売は新車、中古車とも堅調に推移。全店ベースで台数前年比+17.4%、金額前年比+12.7%

2014年9月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】前年同月売上は既存店ベースで▲5.1%、全店ベースで▲3.9%
売上増減要素: ①土日祝日日数、前年比で1日減、②消費税率引き上げ後の新車販売の減少に伴いナビゲーションなどの売上が減少。③車検・整備は台数で前年実績を上回り復調の兆し。④車販売は当社グループとしては加盟店の増加を背景に小売・業販ともに売上伸長し好調を維持。
【商品別】 タイヤ・ホイール: 広告宣伝や販売促進施を強化したことにより、数量はほぼ前年並みの実績を維持したが、単価は下落。ホイールは軽自動車サイズを中心に販売好調で、金額では前年実績を下回ったものの、数量は前年実績を上回る。
カーエレクトロニクス: 据え置き型ナビゲーションの販売単価は前年実績を上回ったが、カーエレクトロニクス全体では数量・金額ともに前年割れ。なお、好調が続いているドライブレコーダーや後部座席用車載モニターは、いずれも前年比二桁以上の大幅伸長。
オイル: 販売強化中のオイル添加剤が好調を維持。 メンテナンス: 天候の影響で前月好調だったワイパーの売上が減少。 アクセサリ: 新車販売の不調に伴って全体では前年割れ。エアコン取付タイプの消臭剤などは好調。
カーリペア: 好天が続いたこともあり洗車用品が好調で、カーリペア全体の売上を牽引。前年実績を上回った。
サービス: ナビゲーションなどの取付工賃は減少したが、板金・塗装やコーティングなどの物販を伴わないサービス工賃は好調を維持。車検・整備は、金額は若干の前年割れだったが、台数は前月に引き続き前年実績を上回った。全店ベースでは台数前年比+4.0%、金額前年比+0.2%。
車販売: 小売においては、新車販売は前年実績を下回ったものの、中古車販売は好調を維持。また、業販は買取り査定件数および成約台数が大幅に増加したことにより売上伸長。全店ベースで台数前年比+17.8%、金額前年比+13.6%。

<p>2014年10月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)</p> <p>【概況】前年同月売上は既存店ベースで▲8.7%、全店ベースで▲7.2%</p> <p>売上増減要素:①新車販売台数の減少に伴いナビゲーションなどの売上減少が継続。②週末2度にわたる大型台風が通過し、売上・集客に悪影響③車検・整備は台数、金額ともに前年実績を上回り売上回復基調④車買取・販売は取り組み店舗数の拡大に伴い売上伸長し好調を維持。</p> <p>【商品別】タイヤ・ホイール:降雪エリアにおける販促実施や降雪によりスタッドレスタイヤは伸長したものの、夏タイヤが数量・金額ともに前年実績を下回る。ホイールはスタッドレスタイヤとの組み込み済商品の展開を強化したことで、PBホイールが好調で、数量ベースで伸長した。</p> <p>カーエレクトロニクス:据え置き型ナビゲーションが数量・金額ともに前年実績を下回り、販売単価も低下。ドライブレコーダーは好調が継続し、前年比二桁以上の大幅伸長。オイル:PB商品は低調だったものの、販売強化中のオイル添加剤は好調を維持。</p> <p>バッテリー:商品ラインナップの見直しによりPBバッテリーが数量ベースで伸長。メンテナンス:天候の影響もあり緊急脱出用ハンマーなどが好調だったものの、メンテナンス全体では前年割れ。アクセサリー:スマートフォン用ホルダーなどが好調だったが、新車販売の不調も影響し、全体では前年割れ。</p> <p>カーリペア:手軽なタイプのコート剤などが数量ベースで好調だったものの、カーリペア全体では前年割れ。</p> <p>サービス:ナビゲーションなどの取付工賃は減少したが、板金・塗装やコーティングなどの物販を伴わないサービス工賃は好調を維持。車検・整備は、数量・金額ともに伸長。全店ベースでは台数前年比+7.3%、金額前年比+2.4%。</p> <p>車買取・販売:小売は、新車販売は前年実績を下回ったものの、販売イベント開催などもあり中古車販売が好調。また、業販においては買取り査定件数および成約台数は大幅に増加したものの、業販全体ではわずかに前年割れ。全店ベースで台数前年比+4.1%、金額前年比+4.1%。</p>

<p>2014年11月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)</p> <p>【概況】前年同月売上は既存店ベースで▲9.0%、全店ベースで▲8.1%</p> <p>売上増減要素:①平年より降雪量が少なかったこと、新車販売の低迷などにより、スタッドレスタイヤやタイヤチェーンなど冬季商品の売上が減少。②引き続きナビゲーションの売上が減少。③車検・整備は台数、金額ともに前年実績を上回り、④車買取・販売は小売、業販ともに売上伸長し好調を維持。</p> <p>【商品別】タイヤ・ホイール:タイヤは販売促進を強化したものの、全般的にスタッドレスタイヤへの履き替えが遅れたことなどにより、前年実績を大幅に下回った。ホイールはタイヤとともに前年割れであるが、スタッドレスタイヤとの組み込み済商品の品揃えを強化したことにより、低価格帯商品中心にPBホイールが数量、金額ともに前年比プラスであった。カーエレクトロニクス:ナビゲーションは前年実績を下回ったが、販売好調なドライブレコーダーや後部座席用車載モニターは前年比二桁以上の大幅伸長が継続。オイル:全体では前年割れだったが、販売促進を強化したNBオイルは数量で前年を上回る。</p> <p>バッテリー:前月に引き続きPBバッテリーは数量で伸長したものの、バッテリー全体では前年割れが継続。メンテナンス:天候の影響もあり、昨年好調だったタイヤチェーンやワイパーが前年割れ。</p> <p>アクセサリー:新車販売の不振も影響し、アクセサリー全体で前年割れ。カーリペア:手軽なタイプのコート剤などが好調で、カーリペア全体の売上を牽引。</p> <p>サービス:タイヤやナビゲーションなどの取付は減少したが、板金・塗装やコーティングなどの物販を伴わないサービスは好調。車検・整備は、前月に引き続き数量・金額ともに前年実績を上回った。全店ベースでは台数前年比+8.8%、金額前年比+4.4%。</p> <p>車買取・販売:小売は新車販売のみならず中古車販売も好調に推移。また、業販は買取り査定件数および成約台数が大幅に増加し、前年比二桁以上の売上伸長。全店ベースで台数前年比+16.7%、金額前年比+14.6%。</p>

<p>2014年12月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)</p> <p>【概況】前年同月売上は既存店ベースで▲2.2%、全店ベースで▲1.0%</p> <p>売上増減要素:①全国的な降雪により、スタッドレスタイヤやタイヤチェーンなど冬季商品の売上が伸長。②新車販売台数の低迷によりナビゲーションやアクセサリーの売上が減少。③車検・整備は引き続き回復傾向。</p> <p>【商品別】タイヤ・ホイール: 全国統一チラシなどの販促施策を重ねたことに加え、特に日本海側、北関東における降雪によりスタッドレスタイヤおよびセット販売のホイールが好調に推移。</p> <p>カーエレクトロニクス: 新車販売の減少に伴いナビゲーション販売台数が低迷。ただし単価の下落は落ち着いてきた兆しが伺える。バッテリー:寒冷な気候が交換需要を喚起し、数量では前年実績を上回るが、PB商品の刷新に伴い一部商品で値引き販売を実施したこともあり、金額では前年割れ。</p> <p>メンテナンス: 降雪需要により全国的にタイヤチェーンの売上が好調。またフロアジャッキなどのタイヤ交換関連商品や雪用ワイパーも好調。アクセサリー: 新車販売低迷の影響を受けてか、ドリンクホルダー、ミラーなどの小物類や、フロアマットなどインテリア関連商品が大きく前年割れ。</p> <p>カーリペア: 窓ガラス用のクリーナーやガラスコート剤は好調だったものの、全体では前年割れ。</p> <p>サービス:スタッドレスタイヤ需要の拡大に伴いタイヤ交換工賃が伸長。また板金・塗装やコーティングなどの物販を伴わないサービスも好調。車検・整備は引き続き堅調に推移。全店ベースで台数前年比+6.6%、金額前年比+3.8%。</p> <p>車買取・販売:小売では、前年の消費税増税前の駆け込み需要の反動もあり、新車・中古車ともに前年割れ。業販では、買取り査定件数および成約台数は伸長したものの、全体では前年割れ。全店ベースでは台数前年比▲3.4%、金額前年比▲9.7%。</p>

<p>2015年1月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)</p> <p>【概況】前年同月売上は既存店ベースで▲8.7%、全店ベースで▲7.7%</p> <p>売上増減要素:①降雪により、関東、関西地方を中心にタイヤチェーンやスタッドレスタイヤなどの売上が伸長。②前年の反動で新車販売が低迷しておりナビゲーションやアクセサリーの売上が減少。③車検・整備は台数、金額ともに前年実績を上回り、好調を維持。</p> <p>タイヤ・ホイール: 降雪によりスタッドレスタイヤが数量、金額ともに前年実績を上回ったが、夏タイヤが不調で全体では前年割れ。ホイールはスタッドレスタイヤとのセット販売が好調で、数量ベースで前年実績を上回った。</p> <p>カーエレクトロニクス: 新車販売台数の減少に伴いナビゲーションの販売台数が低迷し、単価も下落。一方、好調を維持しているドライブレコーダーは金額ベースで前年比二倍近い伸び。バッテリー:商品ラインナップの刷新に伴い、PBバッテリーは好調だったが、全体では数量、金額ともに前年割れ。</p> <p>メンテナンス: 降雪によりタイヤチェーンの売上が前年比で大幅伸長。またフロアジャッキやクロスレンチなどタイヤ交換関連の商品も好調。アクセサリー: 新車販売台数の減少も影響し、ドリンクホルダーなど車内小物やシートカバー、フロアマットなどインテリア関連商品の売上が大幅前年割れ。</p> <p>カーリペア: ワックスやボディ用コート剤、清掃用品などが低調で前年割れ。カースポーツ:新車販売台数の減少が影響し、エンジンスターターなどの売上が減少。</p> <p>サービス:タイヤやカーエレクトロニクスなどの取付工賃が減少。一方で、板金・塗装やコーティングなどの物販を伴わないサービスは好調。また車検・整備は好調に推移し、全店ベースで台数前年比+11.5%、金額前年比+7.5%。</p> <p>車買取・販売:小売は、前年の消費税増税前の駆け込み需要の反動もあり、新車、中古車ともに前年割れ。業販は、買取査定件数および成約台数が大幅に伸長したことにより、台数、金額ともに前年実績を上回った。全店ベースでは台数前年比+0.8%、金額前年比▲5.2%。</p>

<p>2015年2月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)</p> <p>【概況】前年同月売上は既存店ベースで▲21.3%、全店ベースで▲20.5%</p> <p>売上増減要素:①昨年2月の降雪の反動によりタイヤチェーンやスタッドレスタイヤなどの売上が大幅に減少。②昨年の消費税増税に伴う新車販売増加の反動などによりナビゲーションやアクセサリーの売上が減少。③車検・整備は台数、金額ともに前年実績を上回り、好調を維持。</p> <p>【商品別】タイヤ・ホイール: 昨年の降雪による需要増の反動により、スタッドレスタイヤやホイールの売上が前年実績を大幅に下回った。タイヤは夏タイヤも前年比マイナス。カーエレクトロニクス: 昨年の新車販売好調の反動などによりナビゲーションやETC車載器の販売台数が減少。一方、ドライブレコーダーは好調で、金額ベースで前年比二倍近くまで伸長。オイル: 昨年の降雪の影響による販売数量減の反動もあり、数量、金額ともに前年実績を上回った。バッテリー: 商品ラインナップを刷新したPBバッテリーは好調だったが、昨年の寒波による需要増の反動により全体では前年割れ。</p> <p>メンテナンス: 昨年の寒波・降雪の反動により、関東地方を中心にタイヤチェーン が前年対比で大幅減。アクセサリー: 新車販売台数減が 影響し、主力商品であるドリンクホルダーや芳香剤などの車内用品、インテリア関連商品などが前年割れ。</p> <p>カーリペア: 天候の影響により、解氷剤や冬用ウインドウォッシャー液などの冬季商品が低調だったが、一方でシャンプーやワックスなどの洗車用品が好調。カースポーツ: 新車販売台数減が 影響し、エンジンスターターなどが低迷。</p> <p>サービス:タイヤ・ホイールなどの取付工賃が減少したものの、板金・塗装やエンジン内部洗浄など物販を伴わないサービスが好調。また車検・整備は好調を維持し、全店ベースで台数前年比+10.8%、金額前年比+8.3 %。車買取・販売: 昨年の消費税増税前の駆け込み需要の反動もあり、新車販売は前年実績を下回ったが、中古車販売の伸長により小売全体では前年実績を上回った。業販は買取査定件数および成約台数が大幅に伸長したことにより、台数で前年実績を上回った。全店ベースでは台数前年比+2.3%、金額前年比▲3.3%。</p>
--